

資料 3

試行研修カリキュラム（品質管理分野）

訓練技法開発研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
	品質管理を導入した訓練技法開発	平成26年3月5日(水) ～3月7日(金)	10	3
開催会場	職業能力開発総合大学校			
研修のねらい 及び到達目標	公共訓練(学卒者訓練、離職者訓練、委託訓練)などを担当し、品質管理関連の訓練を担当していない指導員(一般指導員)に対して、直接生産分野と間接生産分野をバランスよく習得した人材を輩出するための訓練カリキュラムを検討する。 一般指導員各自の専門性による訓練に、統計的品質管理解析法を取り入れた訓練カリキュラムを立案する。			
研修対象者 と 前提条件	対象者：品質管理関連の訓練を担当していない指導員およびこれに準ずる指導担当者 前提条件：①専門性による訓練を行っていること ②表計算ソフトの操作に慣れていること			
	項 目		学科 H	実技 H
研 修 内 容	1. はじめに			
	1.1 本研修のねらい		0.1	
	1.2 スケジュールと到達目標		0.1	
	2. カン・コツの客観的表現			
	2.1 データの取り方(サンプリングの考え方)		0.8	
	2.2 データのまとめ方(基本的な統計量と読み方)		1.0	
	2.3 正確さ・安定性の表し方(工程能力指数の見方)		1.0	
	3. 専門技術の客観的判断			
	3.1 1つの条件の利き具合(一元配置、二元配置法)		1.0	
	3.2 複数の条件の利き具合(繰り返しのある二元配置法、直交表)		1.0	
	3.3 現場で再現させるには(タグチ流誤差因子の直積)		1.0	
	4. 事例演習			
	4.1 旋削技能の評価(機械加工、データの取り方、基本統計量)			0.5
	4.2 溶接ビードの評価(手作業、データの取り方、相関分析)			0.5
	4.3 測定器の選定(測定、校正、分散分析)			0.5
	4.4 CAEの使い方(設計、応答解析、分散分析)			0.5
	5. 組み込み事例立案			
5.1 班分けと適用テーマ立案			0.5	
5.2 グループ活動			2.5	
6. まとめ				
6.1 成果発表と質疑応答			1.0	
6.2 まとめ				
			計 6.0	計 6.0
担当教員 (所属工学科)	ビジネスマネジメントユニット			
使用する機器 及び教材等	パソコン、プロジェクター、スクリーン、自作テキスト			